

令和 4 年 2 月 7 日

瀬戸市議会議長 宮菌 伸仁 様

住 所 瀬戸市 [REDACTED]
名 前 [REDACTED]
連絡先 [REDACTED]

住 所 瀬戸市 [REDACTED]
名 前 [REDACTED]
新井亜由美

紹介議員

原田 学

ごみ処理費用有料化に対する請願書

1. 請願の趣旨

これまで瀬戸市は「指定ごみ袋に、ビン、缶、ペットボトル以外なら何を入れてもいい」としてきたため、1人1日当たりのごみの量は県下54市町村中、45位となり減量を迫られています。そこで考えられたのが「確実にごみを減らす方法」として、10枚120円のごみ袋（大）を500円にするという市民が驚くような負担増の計画です。

同時に、容器包装プラスチックの分別回収が新たに計画されました。容器包装プラスチックの分別は初めての取り組みであり、有料化の前これを含めたごみ減量対策をまず徹底すべきではないでしょうか。新たな対策による減量の実績を検証することなく、有料化を進めることに到底市民の納得は得られないと考えます。

ごみの減量を真に進めようとするなら、いっそうの分別と資源化を進めることでごみを減らすという基本を優先にすべきです。以下のように要望します。

2. 請願事項

- ① 資源物等の分別とごみ減量を進めるため、丁寧な説明、啓発、補助を徹底するとともに、分別によるごみ減量の実績を検証すること
- ② 3月に有料化を決定しないこと

